

派遣国	ルーマニア	派遣都市	クルジュナポカ
出国年月日	2017年8月5日	帰国年月日	2017年8月30日
法政大学との共催団体名（受入団体名）	バベシュボヤイ大学		
主な活動内容	インターシップ		

1. 活動内容

約1ヶ月にわたって実施されたプログラムですが、大まかに3つのパーツに分けられます。まず始めは、2時間×6回にわたって行われたバベシュボヤイ大学の教授による集中講義です。内容は多岐にわたり、ルーマニアに関するもの（文化、政治、教育制度など）や社会科学における研究の仕方、また効果的なプレゼンテーションの方法論などを学びました。積極的に発言および質問することが求められるのでいい緊張感のなか楽しく学ぶことができました。2つ目はメインとなるインターンシップです。私はARC(アーク)というフィランソピーやCSRに関する業務を行っている組織で約2週間働かせていただきました。期間中は3つのタスクに取り組みました。1つ目は日本や世界に存在する慈善事業および団体について調べ、レポートにまとめる作業です。24時間テレビや赤い羽根共同募金などについて調べましたが、中には英語のウェブサイトがないものもありました。そのため誤解が生じないよう翻訳することが求められとても苦労しました。最終日には調べた内容について社内プレゼンをさせていただきました。2つ目は、**high impact philanthropy** というテーマをもとに数冊与えられた本を読み、要約を作成する仕事です。10冊ほどの中から必要な部分をスキムし、内容をうまく統合させてレポートにまとめました。どちらのレポートも今後の活動の際使用していただけたとのことだったので、いい緊張感を持ちながら真剣に取り組みました。3つ目は路上における資金調達です。こちらに関しては後述するのでここでは割愛します。最後は観光です。毎週末、大学の方やインターン先の方達がルーマニアの様々な都市を案内してくださいました。都市ごとに違った歴史的背景や建築様式などさまざまな話を聞く機会を得られとても興味深かったです。また現地の学生とも交流する機会もありとても面白かったです。

2. 特筆すべきエピソード

このインターンシップで一番印象に残っている活動は、路上での資金集め (Street fundraising) です。私は Preventis という子どものギャンブル、アルコール、また麻薬中毒者の社会復帰を支援する団体の資金集めに参加させていただきました。一緒に活動した仲間はみな現地の高校生で、こうした活動は一種のアルバイトとして認識されているようです。一日目はお互いを知るために軽く雑談をしたあと、Preventis の活動内容をおしえてもらいました。その後路上に出た際どのように人々にアプローチし、また会話をすすめていくかのミニレクチャーをうけ、ある程度ロールプレイングをしたあと、すぐに街に出て活動を行いました。私の場合、英語を話せる人に話しかける必要がありましたが、若い人に話しかけるといいよといったアドバイスや、ルーマニア語をあまり話せない外国の方に対する説明を仲間が途中から私にまかせてくれたおかげで、何人かの人に Preventis について説明する機会を得ることができました。ただそうした人は全体からするとやはり少数派で、次第にまた次も断られるのではないかと思ひ話しかけるのを躊躇するようになってしまいました。しかしお互いにはげまし、鼓舞し合うことでモチベーションを高め合う雰囲気があり、とても気持ちのいい空気のなか活動を終えることができました。

3. 苦労したこと

苦労したことの一つはインターン先の方々とのコミュニケーションです。日本語でももちろん年上の方との会話は簡単なものではないですが、英語でとなるとさらに難しさを感じました。また彼ら同士で話す際はやはりルーマニア語になるので、仕事の途中経過の報告の際割って入っていいのかなど考えすぎてしまうときがありました。

4. 身に付いたこと

このインターンで身についたことの一つとしてタイムマネジメントのスキルが挙げられます。期間中は平日のインターン先でのタスクのほか、日本文化紹介および最終日のプレゼンテーションの準備など多くの課題がありました。さらに土日はほとんど旅行につれていただいたので、賢く時間を使ってそれぞれの課題をこなす必要がありました。優先順位を考えながら計画をたて、スキマ時間を活用しながら無事すべての課題を終えることができました。

5. 今回の経験を経て感じる「グローバル人材」像とは何か

第一に語学力があることが重要だと思います。コミュニケーション能力以前に自分の言いたいことが英語で表現できないとそれだけコミュニケーションに余計な時間がかかってしまい、結果肝心の仕事のほうに集中が十分に回らなくなってしまいます。そこをある程度クリアしてようやくコミュニケーション能力の話ができてくると思います。第二に、よく言われると思いますが、積極性がやはり大事だと思います。待っているだけでは得られる経験も限られてしまいますし、コミュニケーションにおいても積極的に相手と交流しようとするれば、いい結果が得られると思います。

6. 後輩へのメッセージ

旅費などの財政的なネックがあるのはたしかですが、ルーマニアという日本では比較的マイナーと見なされている国に行くことができるいいチャンスだと思います。大学およびインターン先の方々もみな本当によい方たちばかりですし、経験できる全てがかけがえのないものになるとおもいます。私は今年から来年にかけて就職活動をしますが、自分の適性を知る上でこの経験は大変役立っています。

7. 写真



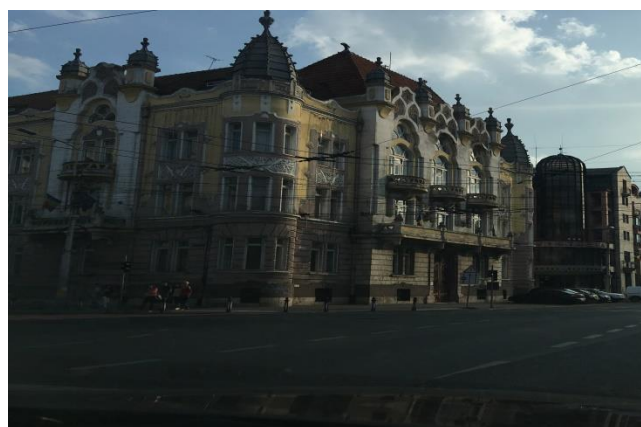
インターン先の方達



資金調達仲間



大学の方達



クルジュナポカ

以上